

奈良市議会議員

もり た かず なり

森田 一成

奈良市議会活動報告



中央官庁と与党へ予算要望

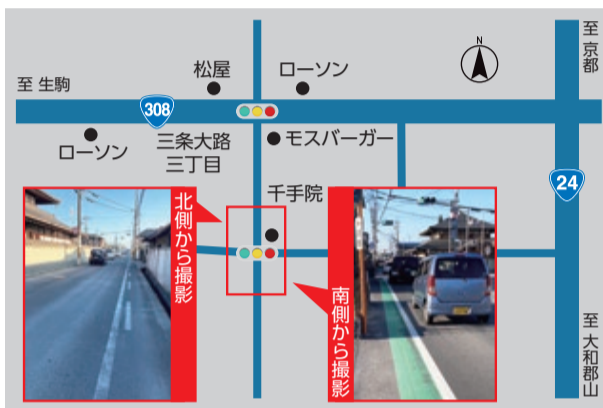
私が所属する奈良市議会の会派「自民党・結の会」は昨年12月、地元の小林茂樹衆院議員と仲川元庸市長と共に、国土交通省、財務省、自民党の高市早苗総務会長、同党の二階俊博前幹事長を訪れ、市の道路などインフラ整備へ向けた予算要望と、防災・減災の観点から道路舗装の老朽化対策への財政支援を要望しました=写真。

予算要望は地域のインフラ整備を行うための国の「社会資本整備総合交付金」の増額を求めるもので、毎年陳情のため上京し、奈良市へ予算額の増額を要望し、実現していただいています。

同交付金は、JR新駅設置を予定し、京奈和自動車道奈良インターチェンジの整備も予定されている八条地区のまちづくりや、道路の混雑緩和を目的に



アンダーパスの道路整備を行っている六条奈良阪線(南京終町1~西木辻町)の整備などに活用されます。



観音庵千手院前の市道交差点 新年度から整備へ

都跡中学校の通学路になっている観音庵千手院(四条大路2丁目)前の市道交差点は、交通量が多く、歩道が狭い状態です。地域の要望をいただいておりますが、この交差点の改良と歩道の拡幅が事業化されました。

地権者様のご理解とご協力を得ることを第一に、新年度から設計に入り、令和5年度に45%の計に入り、令和6年度に工事を行う予定です。令和4年度の新年度予算が成立しました。市が七条地区に移転

グリーンセンター 七条地区移転新築

地元還元事業を検討

地元では賛否が大きく分かれる事業です。環境評価や影響をはじめ、建設事業については議会です。しっかりとした調査・議論を行うことはもちろん、地元選出の市議として行政との架け橋になり、地元の意見を届けていきます。

には残りの45%の工事が行われます。令和4年度から計3年間の事業になります。

観音庵千手院前の市道交差点



「選ばれる奈良」目標に 地域主体のまちづくり前へ

奈良市議会の森田一成(自民党奈良市議会・結の会)は、昨年度の市議改選で8期目の当選をさせていただき、引き続き「選ばれる奈良」を目標に市議会活動に努めてきました。JR新駅や京奈和自動車道奈良ICをはじめ大きく変わる奈良市ですが、安全・安心を守り、地域のまちづくりを前に進めるための予算確保を市に求め「地域主体」を核に取組んできました。令和3年度の私の議会活動を、市民の皆様にお伝えいたします。

- 所属団体 役職
- 都跡地区子供会顧問
 - 三条・四条大路2・3丁目子供会幹事
 - 北大和高等学校同窓会会長
 - 奈良西ライオンズクラブ会員
 - 奈良市ウエイトリフティング協会副会長

- 少林寺拳法奈良中央道院顧問
- 国際空手道連盟極真会館 奈良支部相談役
- 奈良商工会議所青年部朋友会会員
- 奈良市ラグビーフットボール協会副会長

<http://moritakazunari.com>



子どもセンター開所

切れ目のない支援を

新年度4月1日に、奈良市柏木町の柏木公園内に複合施設の「子どもセンター」Ⅱ写真Ⅱが開所しました。県内初となる、児童虐待から子どもを保護する児童相談所を設置、約10年間で5倍に増加している児童虐待の相談に対応していきます。一時保護(概ね0〜3歳児の子どもとその保護者)は12人まで対応し、一人ひとりに居室を用意しています。中核市が設置した児童相談所は横須賀、金沢、明石に続いて全国で4例目になります。複合施設となっており、子育ての相談窓口「地域子育て支援センター」や未就学児の発達相談ができる「子どもの命を守り、切れ目のない支援を行っていきます」。



世界遺産の唐招提寺から薬師寺へと向かう一方通行の道路は、マンホールが多く設置され、大型の観光バスが通行するたびに揺れが発生し、近隣住宅や店舗の皆様からは対策の要望が寄せられていました。私はこれら地域の声を行政に届け、昨年度に道路の改修費用が予算化され工事が完了しました。今後も地域に居住する方々と世界遺産の観光に訪れる方々の調和とバランスを高次元で図れるよう、行政に訴えていきます。

西ノ京道路改修

住と観光の高次元のバランス求める



朱雀園二丁目集会所

バリアフリー改修が完了 土手改修工事は年度中に

奈良市柏木町にある「朱雀園二丁目集会所」Ⅱ写真Ⅱは昨年度、利用するお年寄りや障害のある方に利用上のご不便をお掛けしないよう、バリアフリーの改修を要望し、このほど工事が完了しました。



ツブルームや多目的トイレなどがあります。建物の外側はガラス張りになっていて、待合室からは市街地の眺望や四季折々の風景を見ることが出来ます。食事などの持ち込みは原則不可で、今後売店を設置する予定です。火葬炉はペット用も含む12基。1日で約20件の火葬が可能です。

大納言川改修

未施工部分の改修 今年度に工事着手

五条町の秋篠川と新池をつなぐ大納言川の川底は、約半分がコンクリート化されていますが、残り

半分については地域の方々と共に早期の改修を市に要望してきました。今年度、未施工部分の改修工事に着手されます。これまで、未施工部分は草木や汚泥などが川底に溜まりやすく、地域の方々清掃活動を頻りに行ってこられました。工事については、地域の景観や保全に十分留意するよう、引き続き要望していきます。

また集会所の裏にある土手Ⅱ写真Ⅱについては、地域の方々が行っている除草作業の危

新斎苑オープン

1日約20件対応可 ペット用火葬炉も

奈良市の新斎苑(火葬場)「奈良市斎苑 旅立ちの杜」Ⅱ写真Ⅱが、新年度4月1日にオープンしました。施設内には、他の会葬者と顔を合わせることなく利用できるエントランスホールのほか、キ



まちづくりにSDGsを

改選後の市議会9月定例会の予算決算委員会総務分科会で私は、新型コロナウイルスの感染拡大で1年策定が延期された「第5次総合計画」について質問し、国連の持続可能な開発目標のSDGsをどのように盛り込んだか、市の考えを聞きました。

総合計画は、市の将来像やまちづくりの方向性を決める最上位計画です。第5次総合計画は「『わたし』からはじめる『わたしたち』のまち 奈良」をスローガンに、今後10年間の道筋を描いています。

計画の中で私は、SDGsをどのように展開していくのかを問い、これらを積極的に市政運営に活かしながら、将来的にも人口が減少する中で「選ばれる奈良」となるよう、魅力的なまちづくりを求めました。

また、厳しい財政の再建とともに、市が保有している未利用の土地計103件(81万7020平方メートル)についても質問。このうち5000平方メートル以上は12件あり、七条地区に新築移転を市が計画しているクリーンセンターについては、コストの面からもこれら未利用地の活用を検討すべきだと指摘しました。

